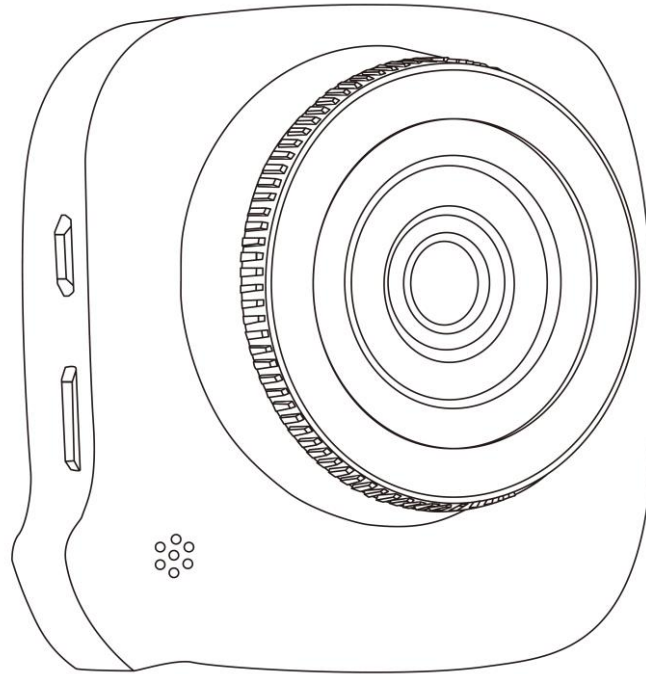


ドライブレコーダー OWL-DR05 シリーズ取扱説明書 【保証書付】

このたびは弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。



特徴

- 本製品はHD (1280 × 720p) の高解像度と、F2.0 の明るいレンズを搭載することで、夜でも明るくノイズの少ない映像を記録することができます。
- Gセンサーを搭載し、衝撃時の映像を上書き禁止ファイルとして記録します。
- LED 信号機消滅問題対策済みです。日本全国どこでも安心してご使用できます。
- 地デジ放送妨害対策済みです。地デジ放送に影響を与えにくいノイズ対策を行っています。
- 録画開始を音でお知らせし、画面を見ずに録画開始がわかります。
- ドライブレコーダー本来の機能を追求し、必要機能を充実させつつメニューをシンプルにすることで操作性が向上しています。



⚠️ もしも事故が発生した場合




事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずメモリーカードを抜いて保管及び、データのバックアップを行ってください。メモリーカードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源オンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

はじめに

- 付属品をご確認ください。（準備ページの内容をご確認ください。）
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト（<http://www.owltech.co.jp>）を参照してください。本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら当社サポートセンターに連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失により、損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品を使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複写・転載することはしないでください。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本説明書ではTM および®マークは明記しておりません。
- ご使用の前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重症を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

警告

- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないで下さい。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は直ちにケーブル類を抜き使用を中止してください。
- 本体の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や事故の原因になることがあります。
- 車両への取付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取付けると、道路運送車両法違反となるばかりか交通事故やけがの原因となります。
- 走行中は運転者による操作や画面の注視は避けてください。マニュアル録画する際は、周囲の安全を十分に確認した上で、素早く操作してください。
- 内蔵リチウムイオン電池が液漏れしたり、異臭がする場合はただちに使用を中止し火気より遠ざけてください。
- 乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。ケーブルが首などに巻きついたり、小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特にmicroSDカードの取扱いには十分ご注意ください。

注意

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本体の変形や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに無理やり押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因となります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体およびシガープラグコードは、エアバッグの妨げにならないように取り付けてください。
- ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- 駐車時などエンジン停止（ACC＝オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止（ACC＝オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品では使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。

使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。また濡れた手で本製品を取り扱わないでください。
- 本製品の端子など金属部分に触れないでください。接触不良の原因になります。
- microSDカードを接続する場合は、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに接続すると、故障や破損の原因になります。
- microSDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。microSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- microSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、一か月に一度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。
- 本製品を使用中にmicroSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品のケーブルの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には使用を中止してください。
- LCD（液晶）画面は、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。これらは、LCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹など生じる場合があります。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本製品はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のTVのアンテナの近くに設置しないでください。TVの受信感度が低下する可能性があります。
- 本製品をいたずらなどの本来の目的以外で使用すると個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらについて弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の取付けによる車両の変色、変形については弊社では一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

内容

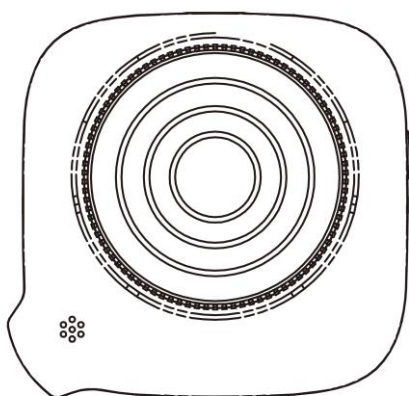
特徴	1
はじめに.....	2
安全上のご注意（必ずお守りください）	2
使用上のご注意	3
1 準備.....	5
1.1 パッケージ内容.....	5
1.2 各部の名称	6
1.3 各部の説明	7
1.4 microSD カードの取付け／取外し	7
1.5 本体の取付け	8
1.6 シガープラグコードの接続と配線.....	11
1.7 電源と内蔵バッテリーについて.....	11
1.8 電源のオン／オフ	12
1.9 動作モード	12
1.10 日時の設定	13
1.11 microSD カードのフォーマット.....	14
2 録画する	15
2.1 録画モードについて	15
2.2 録画時間の目安.....	15
2.3 録画モード画面表示	16
2.4 常時録画	17
2.5 緊急録画（衝撃感知時）	17
2.6 保護録画（手動）	18
2.7 マニュアル録画.....	18
2.8 動体検出録画	18
3 再生する	19
3.1 本製品での再生.....	19
3.2 再生モード画面表示	19
3.3 テレビ（モニター）での再生.....	20
3.4 パソコンでの再生	21
4 消去する／保護する.....	22
4.1 ファイルの消去.....	22
4.2 ファイルの保護／保護解除.....	23
5 設定を変更する	24

5.1 ビデオメニュー	24
5.2 設定メニュー	26
6 キー割当て.....	28
7 故障かなと思ったら.....	29
7.1 電源がオンにならない.....	29
7.2 録画を開始しない.....	29
7.3 キーが反応しない、動作がおかしい	29
7.4 メモリーエラーが出る	29
7.5 常時録画でビデオが保存されていない .	29
7.6 録画した映像がぼやけている.....	29
7.7 信号待ちのときに常時録画が停止して しまう.....	29
7.8 地上デジタル放送に影響がでる.....	29
7.9 パソコンで映像が再生できない。また はスムーズに再生できない	29
7.10 日時がリセットされてしまう.....	29
7.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしま う	30
8 仕様	31

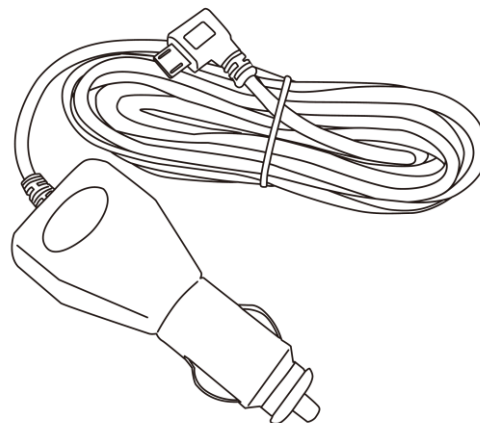
1 準備

1.1 パッケージ内容

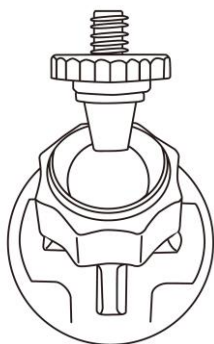
- 本体
 - シガープラグコード (約 4m)
 - ブラケット
 - 取扱説明書兼保証書 (本説明書)
- 粘着テープ等の消耗品は保証対象外となります。



本体



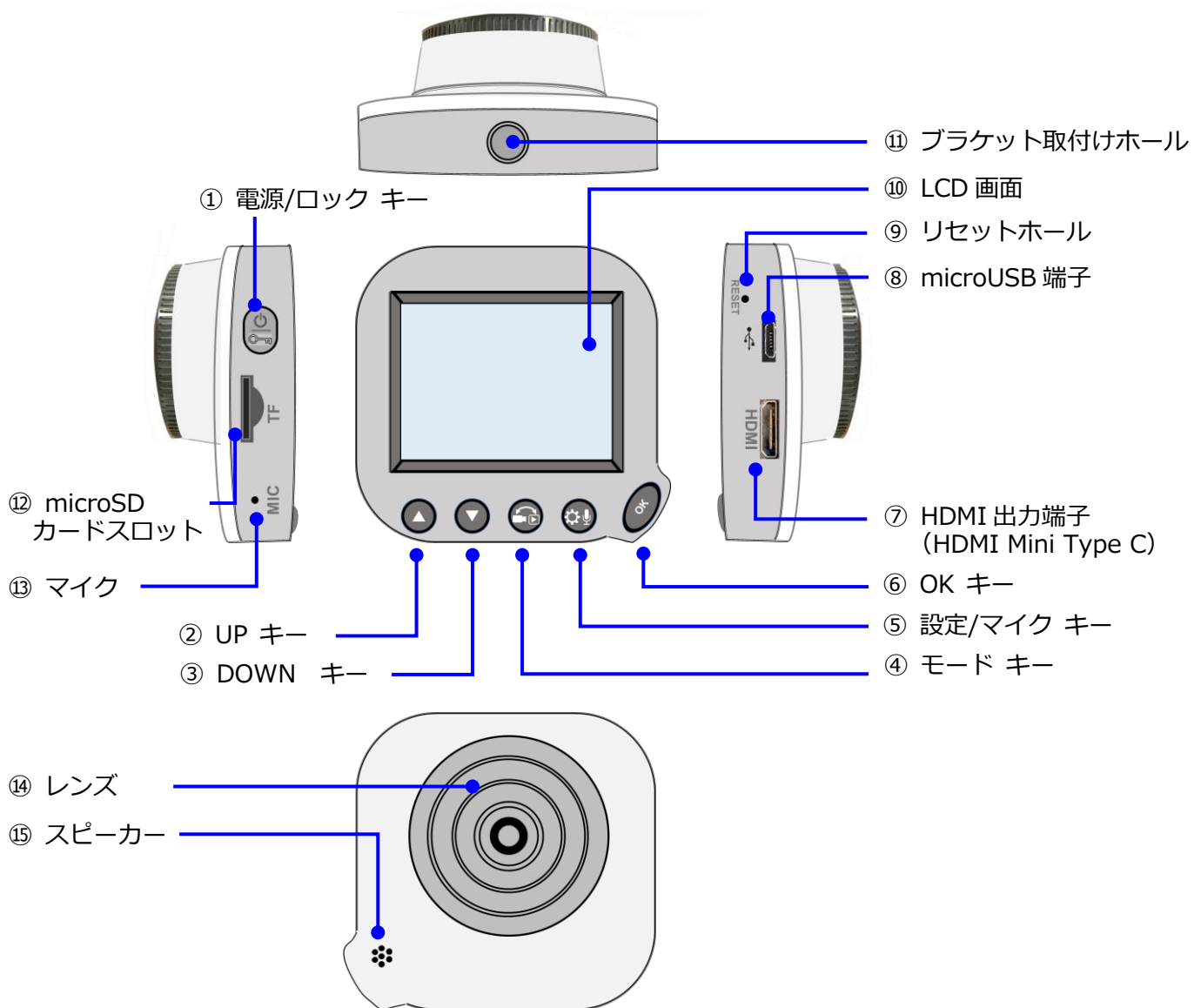
シガープラグコード



ブラケット

- ⚠ microSD カードは付属していません。お客様でご準備ください。
- ⚠ microSD カードは、容量 32GB までの SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 SD カードを使用してください。安定してお使いいただくために Class10 のご使用を推奨します。

1.2 各部の名称



1.3 各部の説明

(1) キーボタン

①電源/ロック キー	電源オフの状態でも一回押すと本製品の電源がオンし、2秒以上の長押しでオフされます。録画モードではファイルの保護/保護解除を行います。
②UP キー ③DOWN キー	再生モードでは動画ファイルの選択を行います。メニューではメニュー項目の選択を行います。
④モード キー	録画モードと再生モードを切り換えます。 再生モードでは、再生の停止を行います。
⑤設定/マイク キー	録画中はマイク（音声録音）のオン/オフを切り換えます。 録画モードでは「ビデオメニュー」、「設定メニュー」、「メニューオフ」が順次切り換わります。 再生モードでは「再生メニュー」、「設定メニュー」、「メニューオフ」が順次切り換わります。
⑥OK キー	録画モードでは録画の開始/停止を行います。再生モードでは動画の再生/一時停止を行います。メニューでは選択項目を決定します。

(2) 外部端子

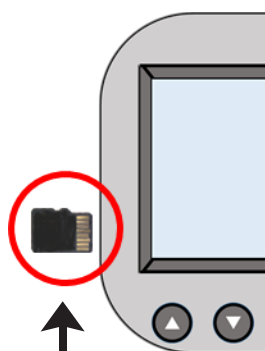
⑦HDMI 出力端子 (HDMI Mini Type C)	HDMI ケーブル（別売）を接続し、本製品の映像を TV やモニターに映すことができます。※接続中は録画できません。
⑧microUSB 端子	電源端子です。専用のシガープラグコードを接続してください。
⑨リセットホール※ ¹	本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセットしてください。再起動します。リセットする際は、クリップなどを加工してリセットホールに挿入してください。
⑩ブラケット取付け ホール	付属のブラケットを取り付ける穴です。本説明書に従い、正しく装着してください。
⑫microSD カードス ロット	microSD カード用のスロットです。本説明書に従い、正しく挿入してください。

❗※1：誤ってマイクなど他の穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

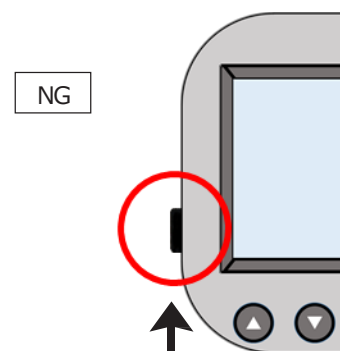
1.4 microSD カードの取付け／取外し

⊙ microSD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行って下さい。microSD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

(1) microSD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、microSD カードスロット (⑫) に真っ直ぐ挿入してください。microSD カードが本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。



金メッキ端子側を LCD 画面側に向けて挿入してください。



microSD カードが本体よりはみ出している。(不完全挿入)

(2) 取り外す場合は、電源がオフであることを確認し、microSD カードを更に押し込んでください。押し込むと microSD カードが飛び出して来ます。勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失しないようにご注意ください。

⚠ microSD カードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、定期的にフォーマットを行ってください。

⚠ microSD カードは、SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 SD カードを使用してください。安定してお使いいただくために Class10 のご使用を推奨します。

⚠ 初めて使用する microSD カードの場合は、最初に本製品でフォーマットを行ってください。(14 ページ参照)

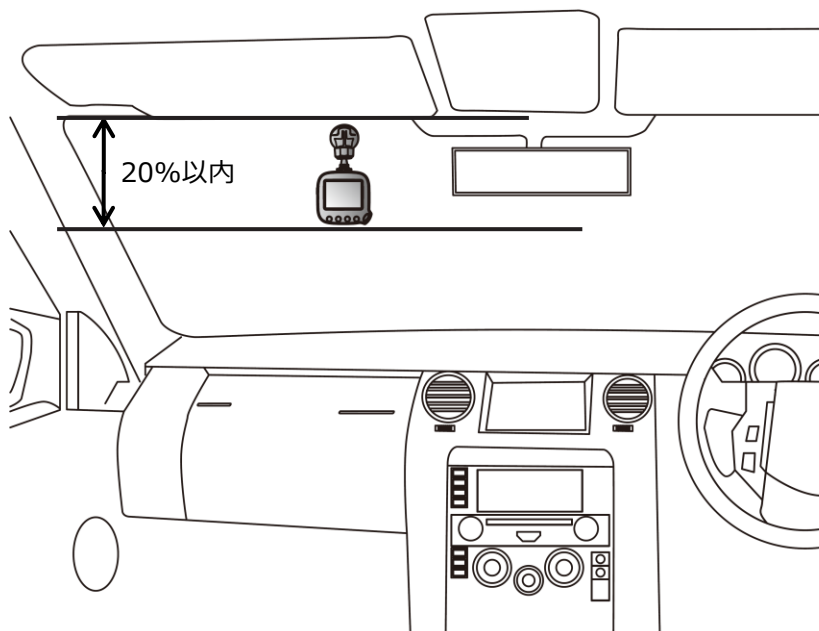
1.5 本体の取付け

(1) 取付け位置

⚠ 本製品はフロントガラスに取り付けることを想定しています。

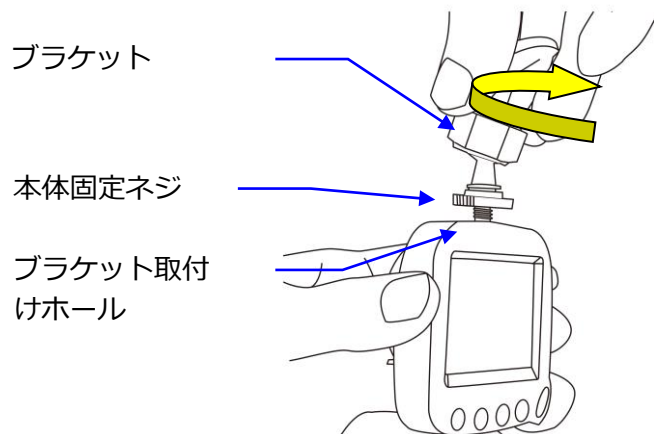
安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取付けを行ってください。

- フロントガラスへの取付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より 20% 以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見つづらくなります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 地デジ等の TV のアンテナの近くに設置しないでください。TV の受信感度が低下する場合があります。

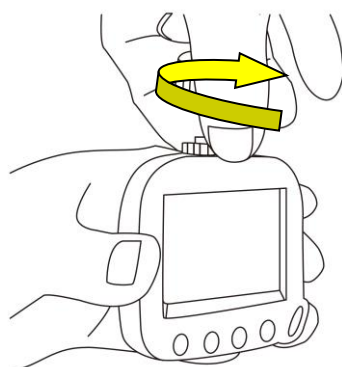


(2) 取付け方法

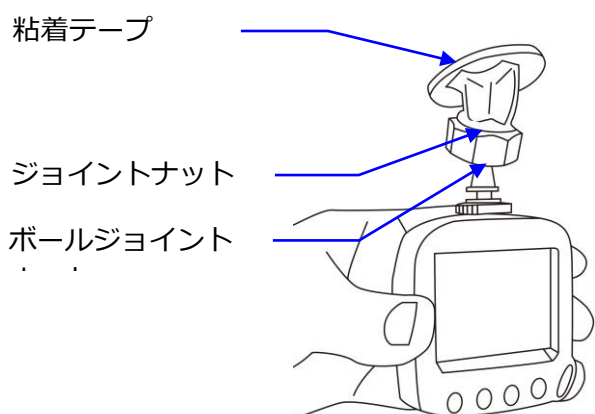
- 事前に取り付け位置を決め、取付け場所のフロントガラスの油脂をクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)
- レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないで下さい。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取って下さい。
- 本体にブラケットを以下の手順で取り付けてください。



ブラケットを本体のブラケット取付けホールに挿入し、矢印の向きにブラケットを奥まで回し入れます。

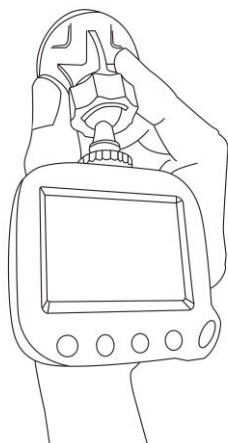


本体固定ネジを図の方向に回して、ブラケットをしっかりと固定します。

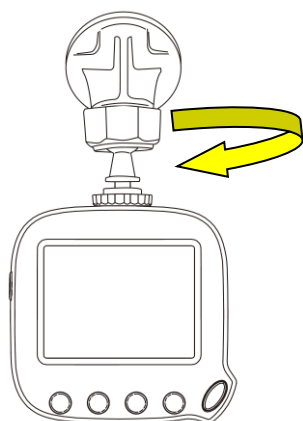


ジョイントナットを緩め、ボールジョイントが自由に動くようにしておきます。

- 粘着テープの保護シートを外し、フロントガラスにしっかりと貼り付けてください。



- LCD画面の向きを合わせ、ジョイントナットをしっかりと閉めてください。

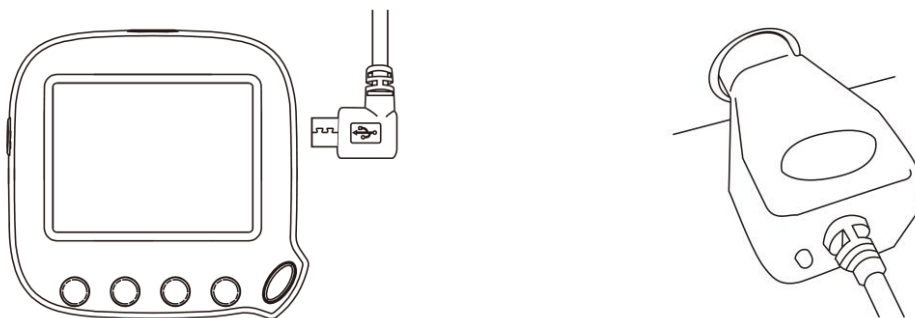


- ⚠ 本体取付けネジ及び、ジョイントナットはしっかりと締めてください。緩んでいると走行中に本体が動いたり、落下する恐れがあります。
- ⚠ 取付け前に動作確認を行うことを推奨いたします。

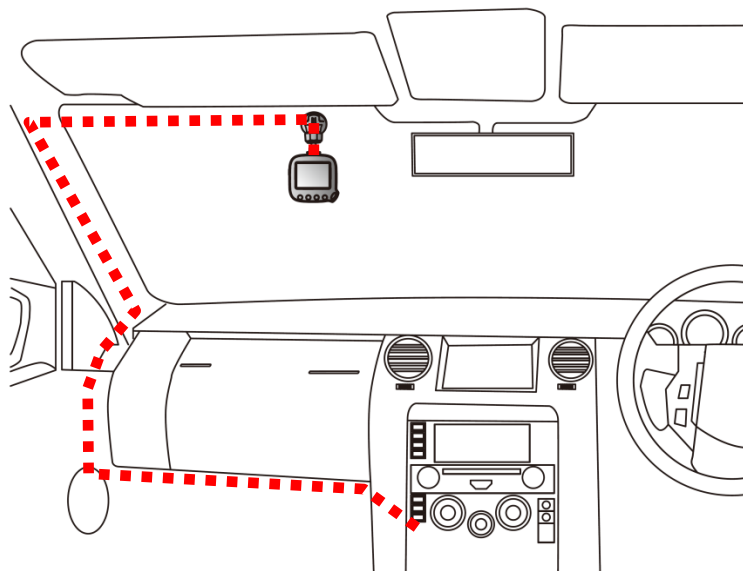
1.6 シガープラグコードの接続と配線

(1) 付属のシガープラグコードを本体の microUSB 端子と、車両のシガーソケットに挿入してください。

⚠ シガープラグコードは必ず付属のコードを使用してください。他のコードを使用すると故障の原因になることがあります。



(2) コードを運転の妨げにならないように配線してください。



⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。

⚠ コードを配線する前に、本製品の動作確認を行うことを推奨いたします。

1.7 電源と内蔵バッテリーについて

(1) 車両のエンジンを始動 (ACC=オン) させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。同時に本体内蔵バッテリー (リチウムイオン電池) への充電が行われ、約 2 時間で満充電になります。

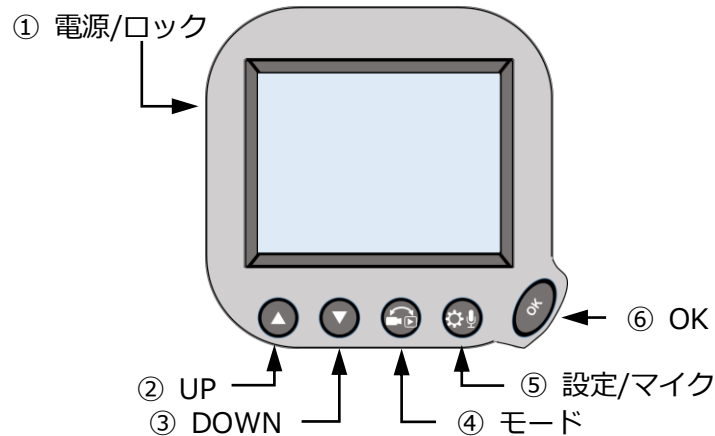
(2) 録画中に車両のエンジンを停止 (ACC=オフ) するとバッテリー動作に切り換わり、約 10 秒後に自動的に録画を終了し、本製品の電源がオフします。

(3) エンジン停止中 (ACC=オフ) でも、内蔵バッテリーにより最大 40 分間 (満充電時) の動作を行うことが可能です。(連続録画は約 30 分。)但し使用環境や動作モードによって動作時間は異なります。

⊘ 駐車時などエンジン停止 (ACC=オフ) 時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止 (ACC=オフ) 時には必ずシガープラグコードを抜いてください。

1.8 電源のオン/オフ

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源がオンになり録画を開始します。
- (2) 「電源/ロック キー」を3秒以上押し続けるとオフします。
- (3) 再度、「電源/ロック キー」を押すと電源がオンします。



- ⚠ 本製品を初めて使用する場合は内蔵バッテリーが充電されていない可能性があるため、使用時に1時間程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフすると、設定値が初期状態に戻る場合があります。
- ⚠ エンジン停止中（ACC=オフ）時は、「電源/ロック キー」を3秒長押しで電源オン、3秒長押しでオフします。内蔵バッテリー動作の場合は、自動的に録画を開始しません。
- ⚠ microSD カードが入っていない場合は、録画を行いません。

1.9 動作モード

本製品は「録画モード」と「再生モード」の二つの動作モードがあります。

録画停止中に「モード キー」を押す度に、「録画モード」, 「再生モード」が切り換わります。（録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。）

録画モード画面



再生モード画面



1.10 日時の設定

- (1) 録画停止中に「設定/マイク キー」を押すとビデオメニューが表示されます。(録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。)
- (2) 再度「設定/マイク キー」を押すと設定メニューが表示されます。
(録画モードでのメニュー画面は、「設定/マイク キー」を押す度に、[ビデオメニュー]、[設定メニュー]、[メニューオフ] に切り換わります。)



- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で「日付/時刻」を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (4) 年（西暦）を「UP キー」と「DOWN キー」で合わせ、「OK キー」で決定します。
- (5) 「OK キー」を押す毎に年→月→日→時→分→秒に移動しますので、年と同様に月日と現在時刻を合わせます。日付/時刻の並び順は、YY/MM/DD、MM/DD/YY、DD/MM/YY から選択できます。

設定	表示説明
YY/MM/DD	年/月/日 の順で表示されます。 例) 2017/03/07
MM/DD/YY	月/日/年 の順で表示されます。 例) 03/07/2017
DD/MM/YY	日/月/年 の順で表示されます。 例) 07/03/2017

- (6) 「設定/マイク キー」を押すとメニュー画面を終了します。

⚠ 長時間電源オフの状態が続くと内蔵バッテリーが切れ、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は再度設定を行ってください。



1.11 microSD カードのフォーマット

初めて使用する microSD カードの場合は、カードのフォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。（品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットを行うと全てのデータは消去されますのでご注意ください。）

- (1) 録画停止中に「設定/マイク キー」を押すとメニューが表示されます。（録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) メニュー画面になった後、再度「設定/マイク キー」を押すと設定メニュー画面になります。
- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で「フォーマット」を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (4) 「SD カード」と表示されますので、続けて「OK キー」を押します。
- (5) 「全てのデータを削除します」と表示されますので「DOWN キー」で「OK」を選択し、「OK キー」を押すとフォーマットを実行します。
- (6) (3) のフォーマットを選択した画面に戻ればフォーマットは完了です。
- (7) 「設定/マイク キー」を押すとメニュー画面を終了します。



- ⚠️ microSD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。microSD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- ⚠️ microSD カードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、一か月に一度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。

2 録画する

2.1 録画モードについて


本製品には4つの録画モードがあります。

常時録画	エンジン始動(ACC=オン)の約 10 秒後から自動的に録画を開始し、エンジン停止(ACC=オフ)の約 10 秒後までの映像を常時録画します。
緊急録画 (衝撃感知時)	常時録画やマニュアル録画中に、内蔵の G センサーが衝撃を検知すると、LCD 上にカギ アイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
保護録画 (手動)	録画中に「電源/ロック キー」を押すと LCD 上にカギ アイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
マニュアル録画	録画停止中に「OK キー」を押すと録画を開始し、録画中に「OK キー」を押すと録画を停止します。
動体検出録画 (駐車時)	本製品画面範囲内の動体の移動を検知すると録画が開始され、10 秒間動体が検知されなければ自動的に録画を停止します。

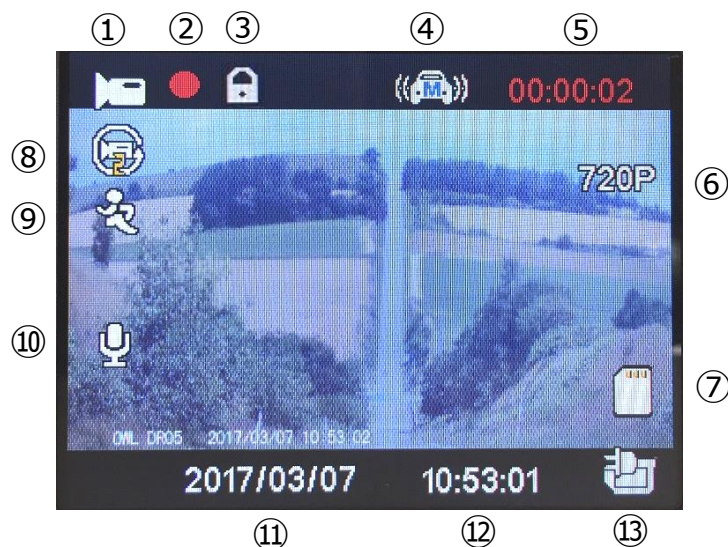
2.2 録画時間の目安















microSD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	8GB	16GB	32GB
720p HD	1280 × 720	約 55 分	約 110 分	約 220 分
WVGA	848 × 480	約 80 分	約 160 分	約 320 分

 記録時間は目安であり保証するものではありません。上記時間（目安）を越えると古いファイルから上書きし、ループ記録を行います。

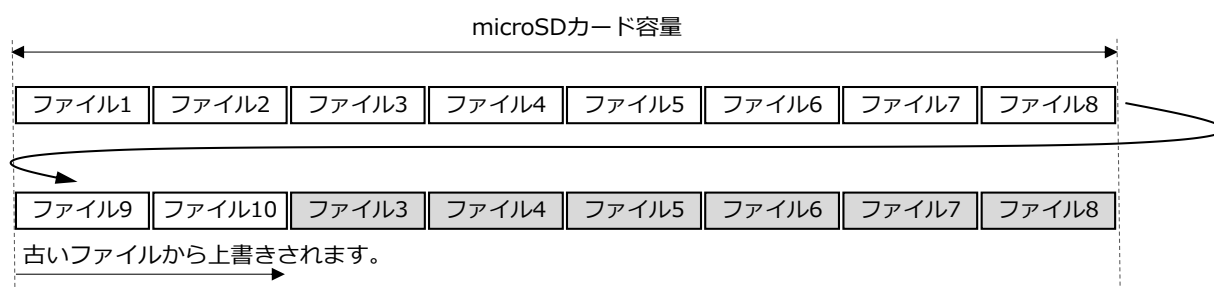
2.3 録画モード画面表示



	表示名	説明
①	モード アイコン	録画モードであることを示します。
②	撮影 アイコン	撮影中は赤丸 (●) が点滅します。
③	カギ アイコン	録画中に G センサーが衝撃を検知した場合、または保護録画 (手動) を行った場合に表示されます。
④	G センサー (衝撃検知) アイコン	G センサーが有効になっているときに表示されます。  G センサーが低感度であることを示します。  G センサーが中感度であることを示します。  G センサーが高感度であることを示します。  G センサーがオフであることを示します。
⑤	録画時間 (残量時間)	1 ファイル毎の録画時間を示します。録画停止時は録画時間の残量を示します。
⑥	記録サイズ/画質 表示	撮影時の記録サイズ/画質を表示します。
⑦	SD カード アイコン	SD カードの有無を示します。  挿入されていることを示します。  挿入されていないことを示します。
⑧	1 ファイル録画時間 アイコン	1 ファイルの録画時間を示します。  2分単位で録画することを示します。  5分単位で録画することを示します。
⑨	動体検出 アイコン	動体検出モードがオンの場合表示されます。
⑩	マイク アイコン	音声録音の状態を示します。  音声録音がオンであることを示します。  音声録音がオフであることを示します。
⑪	日付 表示	現在の日付を表示します。
⑫	時刻 表示	現在の時刻を表示します。
⑬	バッテリーアイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。  5V が供給されていることを示します。  バッテリーが満充電であることを示します。  段階的にバッテリーの残量を示します。  バッテリーが無くなったことを示します。



2.4 常時録画

- (1) 車両のエンジンを始動(ACC=オン)させると本製品がオンになり、約 10 秒後に自動的に録画を開始し、エンジン停止(ACC=オフ)後、約 10 秒までの映像を microSD カードに常時録画します。録画開始時には録画開始を音でお知らせします。
- (2) 録画は、あらかじめ設定した録画単位で 1 ファイル毎に記録されます。録画したファイルが microSD カードの容量一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。録画単位は録画モードのメニューから選択できます。(24 ページ参照)
- (3) 録画の記録サイズ/画質は、録画モードのメニューから選択できます。(24 ページ参照)

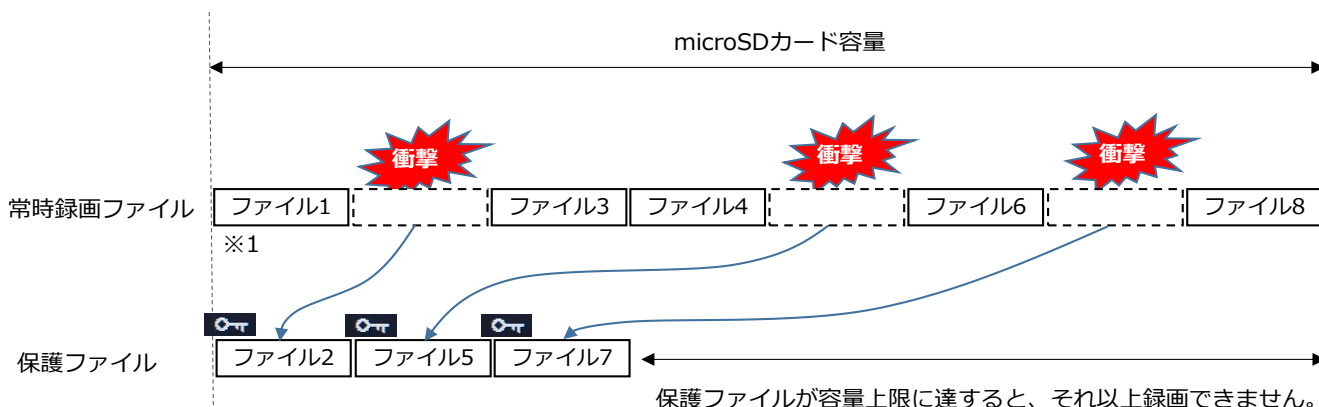


⚠️ microSD カード容量まで録画されると、古いファイルから上書きされます。

2.5 緊急録画（衝撃感知時）



- (1) 常時録画中に本体に衝撃が加わり内蔵の G センサーが感知すると、LCD 画面上にカギアイコン  が表示されます。
- (2) カギアイコン  が表示された状態で 1 ファイル録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとして記録され、その後の録画で上書きされなくなります。
- (3) 保護ファイルを除いて、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。
- (4) G センサーの感度は 3 段階から選択できます。録画モードのメニューから選択してください。(25 ページ参照)


⚠️ 緊急録画で保護されたファイルが、microSD カードの容量の上限に達すると、常時録画など全ての録画ができなくなります。保存したいファイルはこまめに PC などへバックアップを行い、保護ファイルは定期的に消去してください。バックアップの方法は『3.4 パソコンでの再生』(21 ページ) を参照してください。本体でのファイルの消去の方法は『4 消去する/保護する』(22 ページ) を参照してください。



⚠️ 図はイメージです。ファイルサイズやファイル数は実際の物と異なります。

2.6 保護録画（手動）



- (1) 録画中に「モード キー」を押すと LCD 画面上にカギアイコン  が表示されます。（再度「モード キー」を押すとカギアイコンは消えます。）
- (2) LCD 画面上にカギアイコン  が表示された状態で 1 ファイル録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとして記録され、その後の録画で上書きされなくなります。

 保護録画で保護されたファイルが、microSD カードの容量の上限に達すると、常時録画など全ての録画ができなくなります。保存したいファイルはこまめに PC などへバックアップを行い、保護ファイルは定期的に消去してください。バックアップの方法は『3.4 パソコンでの再生』（21 ページ）を参照してください。本体でのファイルの消去の方法は『4 消去する／保護する』（22 ページ）を参照してください。


2.7 マニュアル録画

- (1) 録画中に「OK キー」を押すと録画を停止します。停止中に再度「OK キー」を押すと録画を開始します。録画の条件及び動作は常時録画と同じです。

2.8 動体検出録画

-  動体検出録画は、駐車時など本製品が固定された状態（動かない状態）で使用することを想定しています。走行時は必ず動体検出機能はオフにしてください。
- (1) 録画停止中に「設定/マイク キー」を押すと、ビデオメニューが表示されます。（録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP キー」と「DOWN キー」で「動体検出」を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (3) 選択画面から「オン」を選択します。
- (4) 「設定/マイク キー」を押すと録画モードに戻り、動体検出機能が有効になり、待機状態になります。（LCD 画面に「動体検出 アイコン 」が表示されます。）
- (5) 本製品画面範囲内の動体の移動を検知すると録画が開始され、移動を検出している間は録画を継続し、10 秒間動体移動が検知されなければ、自動的に録画を停止します。（24 ページ参照）



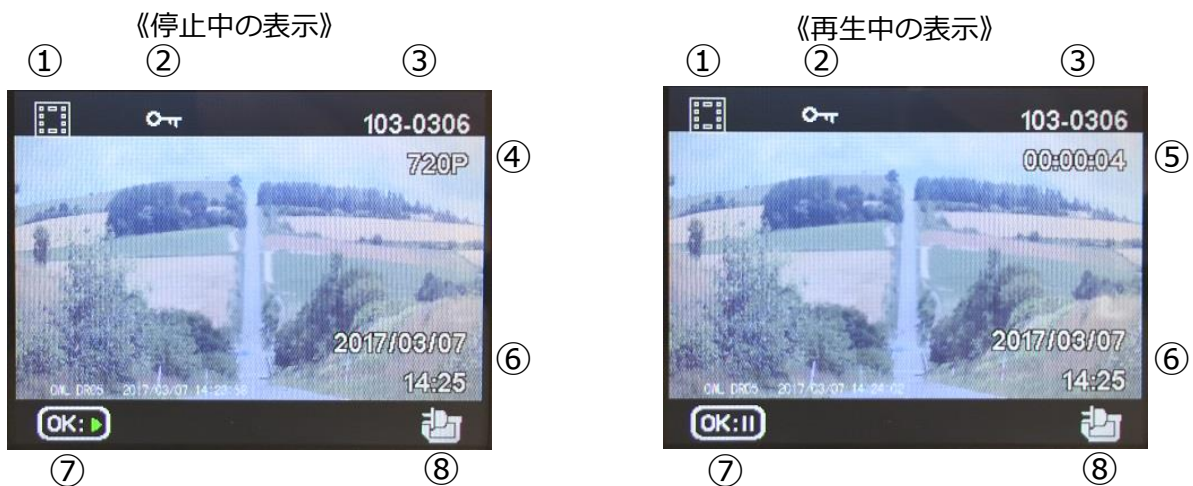
 内蔵バッテリーで動体検出機能を使用する場合は、車両のエンジンを停止（ACC=オフ）後、「電源/ロック キー」を押すと内蔵バッテリーで本製品がオンになり、動体検出待機状態になります。（予め上記の方法で動体検出機能を有効にしておく必要があります。）







3 再生する

3.1 本製品での再生

- (1) 録画停止中に「モード キー」を押し、「再生モード」に切り換えます。(録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。)
- (2) 再生モードにすると、撮影された動画が表示されます。
- (3) 再生したい動画を「UP キー」,「DOWN キー」で選択します。
- (4) 「OK キー」で動画の再生、一時停止を行えます。

3.2 再生モード画面表示



	表示名	説明
①	動画 アイコン	動画ファイルであることを示します。
②	カギ アイコン	ファイルが保護されていることを示します。
③	ファイル名	ファイル名を表示します。
④	記録サイズ/画質	停止中に、記録サイズ/画質を表示します。
⑤	録画時間表示	再生中に、録画時間を表示します。
⑥	録画日時表示	録画した日時を示します。
⑦	再生/停止 アイコン	 停止中であることを示します。 (「OK キー」を押すと再生します。)  再生中であることを示します。 「OK キー」を押すと停止します。
⑧	バッテリーアイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。  5V が供給されていることを示します。  バッテリーが満充電であることを示します。  段階的にバッテリーの残量を示します。  バッテリーが無くなったことを示します。

3.3 テレビ（モニター）での再生

本製品は市販の HDMI ケーブルを使って、テレビやモニターに映像と音声を出力することができます。

(1) 本製品の HDMI 端子 (HDMI ミニ) とテレビまたはモニターを市販の HDMI ケーブルで接続します。


(2) 本製品の電源を入れると、自動的にテレビ（モニター）に映像が映し出されます。


(3) 「モード キー」で再生モードにしてください。


(1) 再生モードにすると、撮影された動画が表示されます。

(2) 再生したい動画を「UP キー」, 「DOWN キー」で選択します。

(3) 「OK キー」で動画の再生、一時停止を行えます。

 テレビ（モニター）に出力中は、録画はできません。

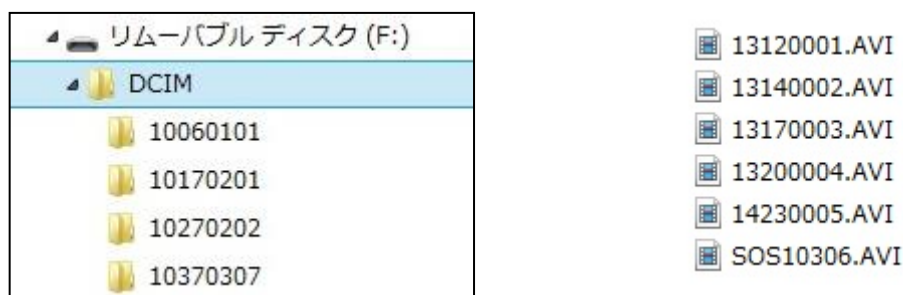
 テレビ（モニター）に出力中は、本製品の LCD 画面は表示されません。（画面オフ）

 HDMI ケーブルは付属していません。

3.4 パソコンでの再生

本製品で撮影した映像は microSD カードを介してパソコンで再生することができます。

- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、microSD カードを取り出します。
- (2) microSD カードを市販の SD カード変換アダプタにセットし、パソコンの SD カードスロットに挿入します。パソコンに SD カードスロットがない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (3) パソコンで SD カードが接続されているドライブをクリックします。
- (4) 『DCIM』フォルダーをダブルクリックします。
- (5) フォルダ構成は以下のように日付ごと（下 5 桁）のフォルダーが表示されます。



《ファイル構成例》

- フォルダ名
上 3 桁が連番を表し、下 5 桁が撮影日を表します。
(例：10370307 は、3 番目に撮影されたファイルで、日付は 2017 年 3 月 7 日です。)
- ファイル名（常時録画ファイル、保護されていないファイル）
上 4 桁が撮影時間を表し、下 4 桁は連番を表します。
(例：13120001 は、13:12 に撮影され、1 番目のファイルであることを示します。)
- ファイル名（緊急録画で保護されたファイル、保護録画で保護されたファイル）
上 3 桁が“SOS”となります。

- (6) 再生したいフォルダーをダブルクリックします。
- (7) 再生したいファイルをパソコンの動画再生アプリで再生してください。

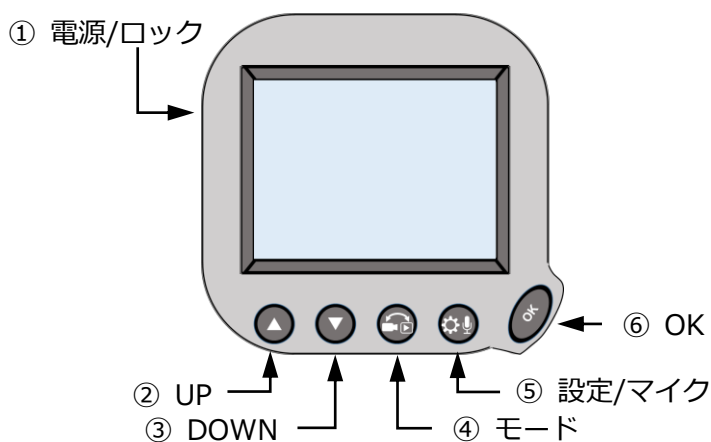
- ⚠ SD カード変換アダプタは付属していません。
- ⚠ microSD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。microSD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

4 消去する／保護する

4.1 ファイルの消去

ファイルの消去は、再生モードのメニューから行うことができます。保護されているファイルを消去する場合は、先にファイルの保護を解除する必要があります。『4.2 ファイルの保護／保護解除』（23 ページ）を参照してください。

- (1) 録画停止中に「モード キー」を押し、「再生モード」に切り換えます。（録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP キー」、「DOWN キー」で対象のファイルを選択し、「設定/マイク キー」を押して再生モードメニューを表示させます。



- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で「消去」を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (4) 項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「OK キー」で決定してください。

- 消去

1 ファイル毎に消去するか、全てのファイルを消去するか選択できます。保護されているファイルを消去する場合は、保護を解除してから消去してください。

このファイルを消去	選択中のファイルを消去します。
全て消去	保護されていない全てのファイルを消去します。

4.2 ファイルの保護／保護解除

「緊急録画」及び、「保護録画（手動）」で録画されたファイルには「カギ アイコン」が付いて、ファイルが保護されています。これらのファイルを消去する場合は、保護を解除する必要があります。また、逆に「常時録画」などで保護されていないファイルを上書き禁止ファイルにして、保護することができます。

ファイルの保護／保護解除は、再生モードのメニューから行うことができます。

- (1) 録画停止中に「モード キー」を押し、「再生モード」に切り換えます。（録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP キー」、「DOWN キー」で対象のファイルを選択し、「設定/マイク キー」を押して再生モードメニューを表示させます。



- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で「保護」を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (4) 項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (5) 保護されたファイルには「カギ アイコン」が付いて、保護されている状態であることを示します。

- 保護

1 ファイル毎に保護または保護解除するか、全てのファイルを保護または保護解除します。

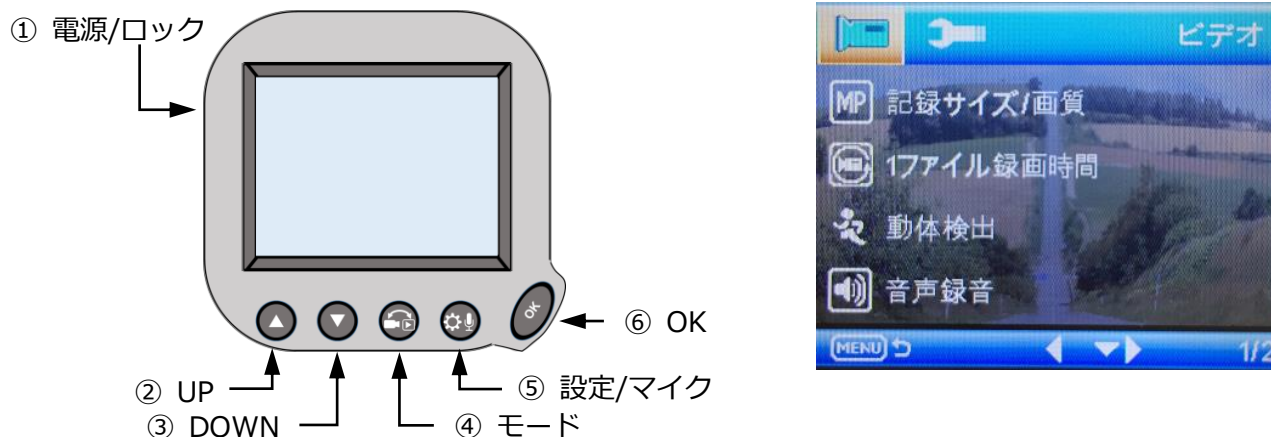
このファイルを保護	選択中のファイルを保護します。
このファイルを保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。
全てのファイルを保護	全てのファイルを保護します。
全てのファイルを保護解除	全てのファイルの保護を解除します。

5 設定を変更する

5.1 ビデオメニュー

録画モードに関わる設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「モード キー」を押し、「録画モード」に切り換えます。(録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。)
- (2) 録画モードで「設定/マイク キー」を押すと、ビデオメニューが表示されます。



- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で変更する項目を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (5) 録画設定項目

- 記録サイズ/画質【初期設定：720P 1280x720】

動画の記録サイズ/画質を設定します。

720P 1280x720	1280 × 720 30fps (HD)
WVGA 848x480	848 x 480 30fps (WVGA)

- 1 ファイル録画時間【初期設定：2分】

録画時間単位を設定します。1 ファイル毎に設定した時間で録画されます。microSD カードの容量が一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

2分	2分単位のループ録画を行います。
5分	5分単位のループ録画を行います。

- 動体検出【初期設定：オフ】

画面範囲内で物体が動いたときに自動で録画を開始します。

オフ	動体検出録画を行いません。
オン	物体が動くとき録画を開始します。

- ⊗ 駐車中を想定しています。移動中は必ずオフに設定してください。

- 音声録音【初期設定：オン】

録画と同時に音声を録音することができます。

オフ	音声録音を行いません。
オン	音声録音を行います。

⚠ 本体の「設定/マイク キー」を押すことでもオン/オフが切り換わります。

- G センサー感度【初期設定：中】

衝突事故などの衝撃を自動的に感知しファイルを保護します。保護されたファイルはその後の常時録画（ループ録画）では上書きされません。

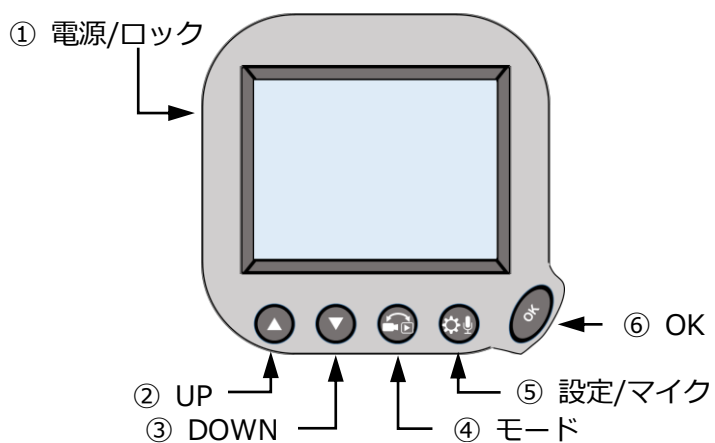
オフ	衝撃を検知しません。
低	大きな衝撃が起こると検知します。
中	中規模の衝撃が起こると検知します。
高	軽微な衝撃でも検知します。

⚠ 事前にテストを行い、ご希望の感度を設定してください。

5.2 設定メニュー

共通の設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「設定/マイク キー」を押すとメニューが表示されます。(録画中の場合は「OK キー」を押して録画を停止してください。)
- (2) メニュー画面になった後、再度「設定/マイク キー」を押すと設定メニュー画面になります。



- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で変更する項目を選択し、「OK キー」で決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「OK キー」で決定してください。

(5) 設定メニュー項目

- 日付/時刻

日付, 時刻を合わせます。「UP キー」, 「DOWN キー」で日付・時刻を合わせ、「OK キー」で決定してください。「OK キー」を押す毎に年→月→日→時→分→秒に移動します。

日付/時刻の並び順は、YY/MM/DD、MM/DD/YY、DD/MM/YY から選択できます。確定後に「設定/マイク キー」を押すとメニューを終了します。

- ナンバープレート

自車のナンバープレート番号など、数字とアルファベットを最大 9 桁設定できます。設定した番号は記録した映像にスタンプとして重ねて記録でき、記録データの管理などに活用できます。

「UP キー」, 「DOWN キー」で選択、「OK キー」で次の桁に移動します。確定後に「設定/マイク キー」を押すと設定メニュー画面に戻ります。

- 記録スタンプ【初期設定：日付/時刻=オン, ロゴ=オン, ナンバープレート=オフ】

撮影時に [日付/時刻], [ロゴ], [ナンバープレート] を映像に重ねて記録できます。

記録する・しないは個別に設定できます。一度記録されたスタンプは消去することはできません。

「UP キー」, 「DOWN キー」で選択、「OK キー」でオン「✓」またはオフ「×」を選択します。確定後に「設定/マイク キー」を押すと設定メニュー画面に戻ります。

- スクリーンセーバー【初期設定：オフ】

録画モードで指定時間の間無操作状態が続くと LCD 画面がスクリーンセーバーに切り換わります。録画中は、画面は消灯しますが録画は継続されます。(画面上の赤 ● が点滅します。)

スクリーンセーバーから通常画面に復帰させるには、いずれかのキーを押します。

「UP キー」, 「DOWN キー」で選択、「OK キー」で決定します。

オフ	スクリーンセーバーに切り換えません。
30 秒	無操作状態が 30 秒続くと、スクリーンセーバーに切り換わります。
1 分	無操作状態が 1 分続くと、スクリーンセーバーに切り換わります。

- 露出【初期設定：0】

光量を調整して好みの露出で録画します。(初期設定：+0)

-2~+2 の範囲で露出を調整できます。

「UP キー」, 「DOWN キー」で選択、「OK キー」で決定します。

暗くしたい時 ←	標準	→	明るくしたい時
-2.0 ~ -1/3	0		+1/3 ~ +2.0

- フォーマット

microSD カードを初期化します。「SD カード」を選択し、「録画/決定ボタン」を押し [OK] を選択すると、全てのデータが消去されます。

キャンセル	SD カードを初期化しません。
OK	SD カードを初期化します。(全データの消去)

- 設定の初期化

本製品の設定内容を初期状態に戻します。(データは消去されません。)

キャンセル	初期設定に戻しません。
OK	初期設定に戻します。

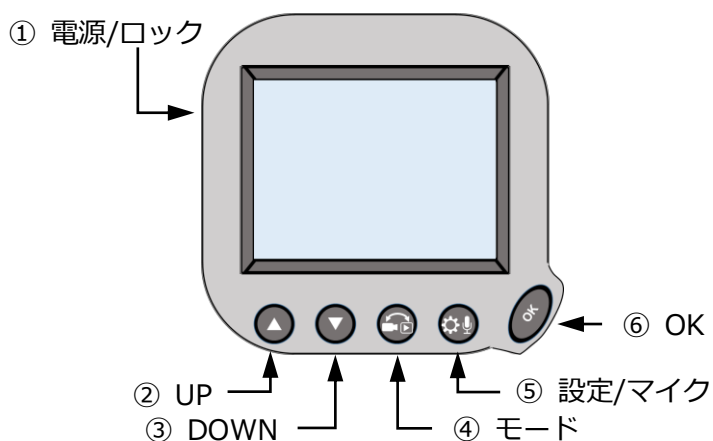
- バージョン

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

6 キー割当て

キー モード	キー割当て					
	①	②	③	④	⑤	⑥
	電源/ロック	UP	DOWN	モード	設定/マイク	OK
■録画モード						
録画中	ファイル保護/ 保護解除	-	-	-	音声オン/ オフ	録画停止
停止中	-	-	-	モード切換え	メニュー表示	録画開始
■再生モード						
1画面表示 (動画)	次の画面に 移動	次の画面に 移動	前の画面に 移動	モード切換え 再生停止	メニュー表示	再生/一時停止
■メニュー						
項目未選択時	-	上に移動	上に移動	-	ビデオ設定/ システム設定/ メニュー非表示	-
項目選択時	-	上に移動	下に移動	-	メニュー非表示	項目選択/決定

電源/ロック キーは2秒長押しで電源オフ



7 故障かなと思ったら

7.1 電源がオンにならない

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しく本製品とカーシガーソケットに接続されていますか？
- カーシガーソケットのヒューズが切れていませんか？（車側のヒューズを確認してください。）
- シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？（シガープラグの LED は点灯していますか？）

7.2 録画を開始しない

- 電源は供給されていますか？
- microSD カードは正しく挿入されていますか？
- microSD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 microSD カードを使用してください。
- 保護されたファイルが microSD カード容量に達すると録画を行えません。保護ファイルを消去してください。
- microSD カードをフォーマットしてください。

7.3 キーが反応しない、動作がおかしい

- 本体をリセットしてください。（リセットキーを押してください。）
- microSD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅い microSD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度 microSD カードを PC 上でフルフォーマットするか、転送速度の速い microSD カードをご使用ください。

7.4 メモリーエラーが出る

- SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 microSD カードを使用してください。
- 使用できるメモリーサイズは 32GB までです。メモリーサイズをご確認ください。
- microSD カードをフォーマットしてください。（必ず本製品でフォーマットしてください。）

7.5 常時録画でビデオが保存されていない

- ループ録画より 8GB の microSD カードでは連続撮影約 60 分で書ききれません。
- G センサー感度が高に設定されていませんか？ G センサーが衝撃を感知するとファイルを保護するため、保護ファイルが増えると常時録画の領域が少なくなります。不要な保護ファイルを消去してください。

7.6 録画した映像がぼやけている

- レンズが汚れや、指紋が付いていないか確認し、汚れていたら柔らかい布でふきとってください。
- 車のウィンドウが汚れていないか、またはワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

7.7 信号待ちのときに常時録画が停止してしまう

- 動体検出がオンになっていませんか？ 移動時は動体検出をオフにしてください。

7.8 地上デジタル放送に影響がでる

- 取り付け位置を地デジアンテナからなるべく離してください。

7.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない

- ご使用のパソコンが Quick Time 形式のビデオを再生できる環境であるかご確認ください。動画再生ソフトがインストールされていない場合は、インストールしてご利用ください。

7.10 日時がリセットされてしまう

- 長期間ご使用されなかった場合など、内蔵バッテリーが空になり日時がリセットされることがあります。電源を供給して再度設定してください。

7.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう

- スクリーンセーバーが有効の場合、録画中に設定時間が経過すると LCD 画面がスクリーンセーバー画面に切り換わります。LCD 画面を常に表示したい場合は、スクリーンセーバーをオフにしてください。

8 仕様

製品名		OWL-DR05 シリーズ
外形寸法 (本体)		71 (W) x 31 (D) x 69 (H) mm
本体重量		71g
カメラ	映像素子	1/4 インチ CMOS センサー
	画素数	100 万画素
	レンズ F 値	F2.0
	視野角	対角 120°
記録メディア		microSD カード 32GB まで対応 ※Class6 以上 (Class10 を推奨)
記録解像度	動 画	1280x720, 30fps (HD 720P)
		848x480, 30fps (WVGA)
LCD 画面	サイズ	2.4 インチ TFT 液晶
記録方式	動 画	AVI フォーマット
映像・音声出力		HDMI Mini Type C 端子 (ケーブルは付属していません)
本体電源入力		microUSB (5V, 1A)
シガープラグコード		12V/24V 入力 (マイナスアース), 5V 1A 出力 長さ 4m
内蔵バッテリー	タイプ	リチウムイオン充電電池
	容 量	130mAh
	動作時間	録画時 約 30 分, 待機時間 40 分
動作温度範囲		-10℃ ~ 50℃
その他		LED 信号機消滅問題対策済み 地デジ妨害対策実施済み

microSD カードの容量に対する録画時間の目安

	記録サイズ	8GB	16GB	32GB
720p HD	1280 × 720	約 55 分	約 110 分	約 220 分
WVGA	848 × 480	約 80 分	約 160 分	約 320 分

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。上記時間 (目安) を越えると古いファイルから上書きし、ループ記録を行います。

Owltech 保証書

1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせ下さい。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従った上で起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲は本体のみであり、シガープラグコードなどの付属品は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び当社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適当な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあって、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や潰れ等。
- 製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番	ドライブレコーダー / OWL-DR05シリーズ	
ご購入年月日	年 月 日	
保証期間	ご購入日より1年間	
保証対象	本体	
お客様	ご氏名	無効
	ご住所	
	電話番号	
販売店	販売店印・レシート	印

- * 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
* 本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管して下さい。



株式会社オウルテック
〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-24-1
Webサイト: <http://www.owltech.co.jp>
Web内のメールフォームよりお問合せ下さい
保証適用の際は購入履歴が必要となります。
☎046-236-3522 平日10時～12時/13時～18時

MCA01-0007-00